

3月定例会

3月定例会は、2月24日から3月14日までの19日間の会期で開かれました。鈴木和夫市長より施政方針が述べられ、一般質問に17人、総括質疑（5頁）に2人の議員が教育・福祉・防災などについて市の考えを質しました。（14～19頁）

市長提出議案は82件で、人事、条例の一部改正、補正予算、令和4年度一般・特別・企業会計予算などを審議し、いずれも原案のとおり可決及び同意されました。

今号では新年度予算の概要と主な事業（3～5頁）、総括質疑（5頁）、賛否が分かれた令和4年度一般会計予算及び意見書に対する討論（6～7頁）を主にお知らせします。

議案ピックアップ

- ◆市長提出議案…82件
(うち人事案件47件は9頁)
- ◆議員提出議案…2件(2・7頁)
- ◆請願…2件(8頁)
- ◆委員会提出議案 3件(8頁)
- ◆選挙…1件(9頁)

全ての議案の審査結果は市議会ホームページをご覧ください。



予算総額 474億6,114万円

会計区分	令和3年度 A	令和4年度 B	比較増減	
			増減額(B-A)	伸び率(%)
一般会計	287億 2,000万円	286億 8,000万円	▲ 4,000万円	▲ 0.1
特別会計	121億 5,326万円	121億 9,964万円	4,638万円	0.4
企業会計	66億 2,034万円	65億 8,150万円	▲ 3,884万円	▲ 0.6
合計	474億 9,360万円	474億 6,114万円	▲ 3,246万円	▲ 0.1

特別会計、企業会計

本市には、一般会計の他、国民健康保険特別会計など、特定の事業を目的に設けられている7つの特別会計と独立採算により事業を展開している水道・下水道・工業用水道の3つの企業会計が設けられています。

新年度一般会計予算 286億8,000万円 (前年度比 4,000万円減 ▲ 0.1%)

歳入	内 訳	金 額	増 減
	一般財源	183億 7,488万円	2.1%
	市税	90億 6,772万円	5.6%
	地方交付税	72億 1,922万円	▲ 2.8%
	各種交付金	20億 8,794万円	5.4%
	特定財源	103億 512万円	▲ 3.9%
	国県支出金	66億 4,758万円	▲ 1.4%
	繰入金	9億 7,807万円	▲ 7.4%
	市債	17億 7,930万円	▲ 9.2%
	その他	9億 17万円	▲ 6.9%

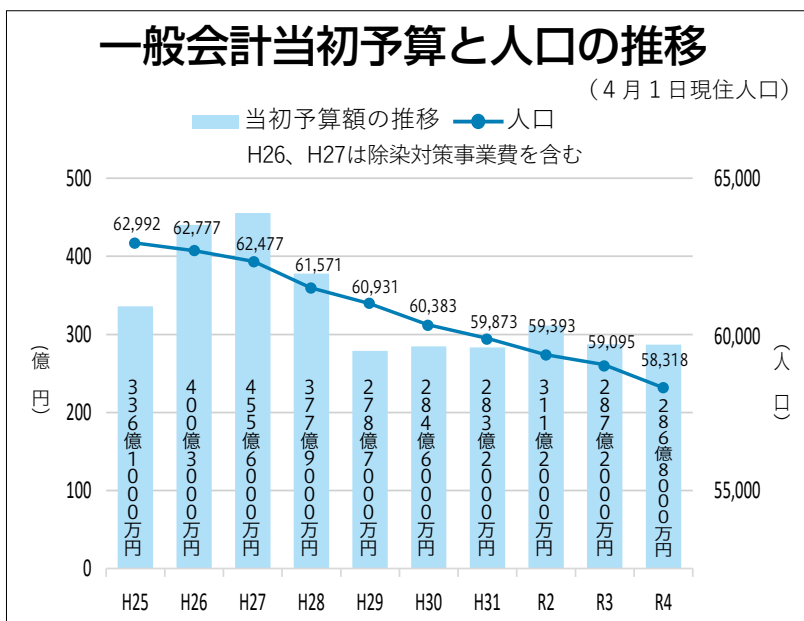
歳出	内 訳	金 額	増 減
	義務的経費	134億 2,432万円	2.9%
	人件費	49億 8,875万円	3.6%
	扶助費	51億 8,043万円	1.1%
	公債費	32億 5,514万円	4.6%
	投資的経費	37億 5,536万円	▲ 6.8%
	主なもの		
	白河第二中学校建設事業	7億 5,651万円	—
	道路改良事業(交付金)	5億 7,965万円	—
	住みよい街づくり事業	3億円	—
一般行政経費	115億 32万円	▲ 1.2%	
主なもの			
新型コロナウイルスワクチン接種事業	2億 1,454万円	—	
白河っ子すくすく応援クーポン券支給事業	4,191万円	—	
マイナンバーカード普及促進事業	8,008万円	—	

未来の白河を創造するために

令和4年度予算の概要

一般会計の予算額は286億8千万円となり、対前年度比較で4千万円、率にして0.1%の減、特別会計及び企業会計を含めた全会計の予算規模は、474億6千万円となり、対前年度比較で3千万円、率にして0.1%の減となりました。

長引くコロナ禍がもたらした社会構造や生活スタイルの変化を地方再生の好機と捉え、前例や既存概念にとらわれることなく事業の見直しを行い歳出の効率化に努める一方、人口減少対策や地方経済の活性化に向けた事業の着実な推進、アフターコロナにおける地域活力の再生など、未来の白河を創造する施策に重点を置いた予算編成です。



保育園・幼稚園施設環境整備事業

新規

363万円

安心して保育・教育のできる環境を整備するため、保育園、幼稚園に防犯カメラを設置する。



消防団運営事業

拡充

6,863万円

消防団員の処遇改善及び人員確保を図るため、年額報酬と出動報酬の見直し等を行う。



白河っ子すくすく応援クーポン券支給事業

拡充

4,191万円

クーポン券（3万円分）の支給をこれまでの1歳児以下から、対象年齢3歳児以下に拡充する。



高齢者見守り生活支援事業

継続

1,938万円

高齢者サロン、集会所、個人宅へ移動販売車による巡回をし、高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせる環境づくりを行う。



アフターコロナに向けて
議員が注目する事業



質疑とは、議会に提出された議案について疑問や不明確な点があるときに説明を求めるもの。
提案された議案に関係することしか質問できません。3月定例会では、一般質問(P14~19)と分けて行っています。

3月議会定例会 総括質疑をご紹介します。



須藤 博之 議員

議案19号 令和4年度一般会計予算

Q 学校図書館蔵書整備強化事業について

A 児童生徒の読書推進と学習活動支援のため、蔵書達成率を5か年計画で100%に引き上げる予算で、達成率が低い学校へ傾斜配分をするものである。

Q 移動図書館「ゆるりぶ」運行事業について

A 図書館サービスが及ばなかった方々に、軽トラックの側面に本棚を配置し、本の貸し出しサービスを行うもので、高齢者サロンを中心に月1、2回出向いて行くことを予定するものである。

Q 子育てスキルアップ事業について

A 発言の遅れや指差し・指示理解等ができない子どもたちが多く見られ、愛着形成不全対策として、脳と心と体をはぐくむ遊びの教室をアナビススポーツプラザと保健センターで月1回開催するものである。

Q 屋内遊び場「わんぱーく」について

A 木製大型遊具や知育玩具を導入し、子どもたちが自ら楽しめる環境と、遊び方教室や親子で楽しむイベントを開催するものである。



深谷 弘 議員

議案10号 犯罪被害者等支援条例

Q 犯罪被害者等基本法の制定(平成16年)から17年。条例制定が遅れた経緯は。

A 県は平成20年犯罪被害者等の支援推進を規定した条例(防災・防犯含む)を公布。しかし、「京都アニメーション放火殺人事件」などの凶悪事件発生で、更なる被害者支援が求められ、昨年県で犯罪被害者等支援条例を策定。さらに広域的支援の実効性を高めるため、市に条例制定の要請があり、今回の提案となった。

Q 相談・情報提供の窓口、見舞金の支給はどうなるか。

A 総合的な窓口を生活防災課内に設置。被害者遺族見舞金、重傷病見舞金、転居費用助成金などがある。

議案19号 令和4年度一般会計予算 地域内移動支援事業

Q 予算説明で事業の拡充となっている。その内容は。

A この事業は、運転免許証を持たない「満75歳以上の高齢者」及び「障がい者」を対象に、バス・タクシー助成券を交付するものだが、これまで障がい者福祉制度で通院等の交通費助成を受けていると対象にならなかったものを改善。対象に加えることにした。

農業の未来をつくるスマート農業推進事業

拡充

1,400万円

農作業の効率化を図るため、ICT機器及びロボット技術導入による経費の一部を補助する。また、一定の事業費を超える場合は、上限をかさ上げする。



しらかわ観光ステーション整備・活用事業

継続

1億4,527万円

JR白河駅舎に隣接する既存建物を体験型の観光案内所に改修し、コンピューター広場と一体的に整備することにより、新たな賑わいを創出する。



複合施設整備事業

継続

1億6,140万円

市民会館跡地に「健康増進」「子育て支援」「生きがいがづくり」を柱とした複合施設を整備するため、基本計画・実施設計及び管理運営計画に着手する。



空き家対策計画改定事業

拡充

1,077万円

市内空き家の実態調査を行い、平成30年3月に策定した空き家対策計画を改定する。

